

# アートin高瀬 彫刻展開催のお知らせ

新型コロナの影響で2度延期となりました。崇城大学芸術学部・勝野学部長ご協力のもと開催期間は例年2週間としていましたが、2022年は1週間を予定しています。

短い期間ではありますが、高瀬蔵ホールの大空間と彫刻作品の融合した圧巻の世界をぜひお楽しみください！

第11回 アートin高瀬 彫刻展  
開催期間：3/6(日)～3/13(日)  
開催時間：午前10時～午後7時  
(最終日は午後3時まで)



(まちづくり推進部会・坂井)

## 『高瀬蔵恒例のガラクタ市』

今年は2月20日(日)に開催します！！  
売り切れ御免！例年好評を頂いている、  
恒例の高瀬蔵ガラクタ市。

あなたが探していた物や思わぬ掘り出し物が見つかるかも♪♪♪

何が出るかお楽しみ！！カフェもやります。  
会員の皆様からの物品提供も大歓迎です。

(商店会イベント部会)

## 受付スタッフ一同 本年もよろしくお祈りします！

新年明けましておめでとうございます。昨年は、会員の皆様の日頃のご支援のおかげで、無事に1年を終えることができました。受付スタッフ一同、感謝を申し上げます。本年も高瀬蔵をよろしくお祈りします。

(受付スタッフ一同)

## 会費納入のお願い

当法人運営につきましては、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。令和3年会費のお支払いがお済でない方は、高瀬蔵受付にて納入頂きますようお願いいたします。(事務局)



NPO法人 高瀬蔵

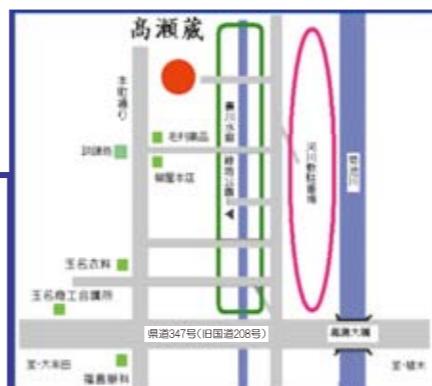
熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL info@takasegura.jp

URL http://takasegura.jp

開館時間 8:00～22:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆◆ 開館17年目となりました！ ◆◆◆



11月18日、新型コロナの感染状況が落ち着き、久々に多数のメンバーにて開催された企画運営会議の様

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。高瀬蔵の運営につきましても、一昨年からのコロナ禍の中におきましてもこれまでと変わらないご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。昨年も非常に厳しい状況でした。ほとんどのイベントが延期、中止となり高瀬蔵への人の出入りはほぼなくなり、時間短縮をしなければならぬ状況で、業務も対応が難しく、今春からは3度目のワクチン接種でさらに不安定な生活を送ることができなくなりました。おかげさまで、新年を迎えることができました。国連サミットで採択されたSDGsという言葉が頻りに聞かれるようになり、「住み続けられるまちづくりを」という項目が一つあります。高瀬蔵では文化、まちづくり、商店会イベント、音楽の分野でそれぞれの分野の活動を実施してまいりました。そこで、今年は特にコロナ禍で弱った町や人々が元気を取り戻し、気持ちをよく住み続けることができるにはという点に留意し、活動を行いたいと考えております。高瀬蔵の維持管理や財政など課題は山積しておりますが、会員の皆様をはじめ地域の皆様方の益々のお力添えをお願いし、元気ある高瀬蔵の運営に取り組んでまいります。本年が皆さまにとって健康で実り多き一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

人と街を元気にする蔵として

理事長 猿渡 公予



# 高瀬界隈巷間新 ～コロナ禍の中、歴史や自然に触れる機会を提供することができました!～



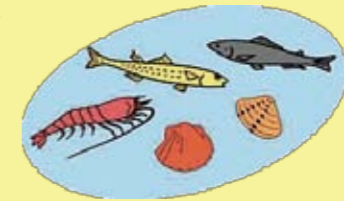
小学生による菊池川の生き物の自由研究の発表

## 高瀬界隈巷間新第16話「菊池川の宝さがし」

新型コロナウイルス感染拡大で延期になっていましたが、11月6日土曜日に開催しました。河原での生き物観察については、残念ながら中止とさせていただきます。また、今回は歴史博物館ころこピアとの共催となりました。

はじめに「菊池川の宝さがし」に毎年参加してくれている玉名町小学校6年生の濱崎義朋君と濱崎銀士郎君が、菊池川の生き物について、その種類や捕まえ方、安全についての注意から、外来生物の扱いまで話をしてくれました。自由研究では、豪雨の前後の生き物の状況を継続して調べているそうです。これからも楽しみです。

続いて菊池川と人々の暮らしについてのお話は、歴史博物館ころこピアの竹田館長です。明治時代の初め、菊池川の河口港として栄えた高瀬の町には魚屋が26軒もあったそうです。そのお魚が滑石村から供給されており、タチウオが7.5トンなど種類も量も豊富な水揚げがあったことのお話でした。菊池川、そして有明海の豊かな恵みを大切にしていきたいものです。  
(文化部会)



## 高瀬界隈巷間新第18話 『中国人海商「林均吾」と玉名で没した朱印船貿易家たち ～玉名市指定史跡「明人林均吾墓」建立400年～』

11月26日に開催、調査を担当された日本考古学協会員の荒木隆宏さんにお話をいただきました。

天水にある林均吾墓は、元和7(1621)年に建立されてから今年でちょうど400年。日本で二番目に古い年号を持つ中国人貿易商人のお墓です。元和5(1619)年の肥後四位官郭公墓が長崎の呉三官墓とともに一番古く、何と一番二番が玉名にあるのです。年号はありませんが、振倉謝公墳も同じ頃のものでした。

江戸時代の初めには伊倉に唐人町があり、中国人商人たちが拠点を置いて貿易を行っていたということです。また、かつては伊倉に港があったということから、想定される当時の地形の話でも盛り上がりました。

(文化部会)



日本考古学協会員 荒木隆宏さん

